

こんにちは
日本共産党

市会議員 西野さち子です



ムダ遣い・ゴミ減量に結びつかない・欠陥「焼却灰溶融施設」は中止に！ ごみ減量化に取り組むことこそ今日の課題！



「どうなってるの？」京都市の
ごみ行政？」市民の会が学芸会

8月4日、山科アスニーでごみ問題の学習会が開かれました。焼却灰溶融炉を動かせば3年目からは毎年20億円もの運転経費が必要です。溶融炉の稼働をせずにごみの減量で埋立地の延命をすべきとの立場から、コンシューマーズ京都理事の原強さんに講演をお願いし、その後参加者から、「私はこんな工夫をしてこ



みを減らして
います」
と、さまで

まな意見が出されました。西野市議は溶融炉についての報告をしました。また、京都市のごみ行政に関わっておられる職員の方からは、「資源ごみのかんびん、ペットボトルは混合でなく分別すべき」等の意見も出されました。

**焼却灰溶融炉 来年8月末が
期限 30機器の改修が必要**

最初に試運転を始めた2009年12月からすでに2年8カ月近くがたちました。京都市の報告では、7月31日に住友重機械工業から、「2013年8月末日までに完成して京都市に引き渡す」と文章で連絡があったとのこと。しかし、今になって30もの機器の改修が必要で、京都市の技術を提供しながらの改修です。前処理工程は湿式から乾式へ、全く違う方式に変えられます。西野さち子市議は、まちづくり委員会会で「住友の技術は信用できない。契約解除すべき」と求めました。



「原発 再稼働反対！」
関電前に200人

毎週金曜日に行われている「原発ゼロ」行動は官邸前に呼応して、各地の電力会社前で今週も行われ、京都駅前関電の周りには、若者から高齢者まで、思い思いのアピールをしながら集まりました。西野さち子市議も日本共産党市会議員団の会議の合間をぬって参加しました。

この日は消費税増税法案が参議員で採択されたこともあって、野田内閣とともに自民、公明への怒りを込めて西野さち子市議はバギーに赤ちゃんを乗せた女性と並んで原発ゼロをアピールしました。

「9条の会。醒醐」
6周年記念集会

醒醐に9条の会が発足して7年目になります。毎月の例会を欠かさず開き、その時々の問題を学習してきました。国民の知らない間に憲法を変えようという動きが着々と進められていきます。2度と日本に戦争を持ち込まないためにも、憲法を守る運動をさらに広げていきたいと思います。

